

ワシントン州：小麦作柄と気象状況

2010年11月7日現在

概況 ワシントン州東部の11月7日に終る1週間の気象は、降雨を伴う平年より高い気温の気象であった。EC地区の最高気温は64~67度F、最低気温は33~37度Fとなり、平均気温は平年を4~6度F上回った。SE地区の最高気温は66~69度F、最低気温は31~41度Fであり、平均気温は平年を5~11度F上回った。1週間の降水量はEC地区で0.05~0.43インチ、SE地区で0.24~0.51インチであった。降雨は週末に集中した。1週間の州平均農作業稼働日数は5.0(前週:4.5日)であった。Topsoilの土壌水分は、前週より“Surplus”が増加し、“Adequate”が減少した。2011年産冬小麦の播種は、全州にて完了し、播種圃場の96%にて出芽した。出芽のペースは土壌水分が良いことから、昨年並びに5年平均より早い。州東部では温暖な気象と適量の降雨とにより、冬小麦の出芽並びにその後の生育は順調であった。Walla Walla郡では11月6日に集中して降雨があり、一部の圃場にて水分過多が発生した。冬小麦の作柄は前週より“Excellent”が減少したが、全体に良好な作柄評価であった。昨年より非常に良い作柄であった。

土壌水分及び灌漑用状況(*)

(%)		Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week	0	6	54	40
	Last week	4	5	77	14
	5-Yr Ave.	7	16	55	22
Subsoil	This week	3	22	72	3
	Last week	3	27	69	1
	5-Yr Ave.	17	33	46	4
Irrigation	This week	0	2	91	1
	Last week	0	2	96	2
	5-Yr Ave.	2	6	91	1

冬小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Planted	100	99	100	100
Emerged	96	93	89	87

冬小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	0	0	10	80	10
Last week	0	0	10	76	14
Last year	3	6	40	44	7

(*) Source: Washington Agricultural Statistic Service, National Agricultural Statistic Service, Oregon Field Office, 5-Yr Ave means average of past 5 years 2006,2007,2008,2009 and 2010 Crop year.

以上